

県民ひろば

2023年10月23日

No.66

発行/県民クラブ
連絡先/大分県議会
大分市大手町☎(097)536-1111(代)

<https://kenmin-club.com>



県民の声を幅広く県政に

県民クラブ 成迫 健児(佐伯市)



せし、議会を身近に感じて頂くために広報委員会を設置し、様々な情報をお伝えする広報・広聴事業を行っています。

①テレビや広報誌・SNS等を通じた広報活動、②県内小・中学校への議員出前講座、③親子で参加できる夏休み子ども議会見学、④各地域で県民と直接意見交換を行う出前県議会、⑤若者の意見等を広く聴取し意見交換を行うユースモニター制度などがあります。

8月に開催された夏休み子ども議会見学では、広報委員が子どもたちをエスコートして会派控室や会議室を案内、議会の仕組みなどを説明しました。最後に本会議場で、子どもたちに議席に着いて質問をしてみたい、議員が執行部席から答弁をするという機会をつくりました。

令和5年度より本格実施され、10月に開催されたユースモニター制度では、18〜30歳の社会人や大学生と直接向き合い様々な意見を頂きました。大学生の参加者は県外出身者が多く、大分県で生活をする中で政治に関心をもたずにはいられないとの発言もありました。現在IT企業で活躍している方から「EBPM(証拠)に基づく政策」への議会における対応について質問を受けました。今後、大分県はDXの推進に伴いデータ収集と利活用の環境整備に力を入れ

私は今年度、広報委員会の副委員長を仰せつかりました。大分県議会では広範な県議会の活動を県民にわかりやすくお知らせし、議会を身近に感じて頂くために広報委員会を設置し、様々な情報をお伝えする広報・広聴事業を行っています。

ながら政策の効率的な立案を行っていくこととなっています。ほとんどの参加者はこれまで政治に興味がなかったと言われましたが、意見交換をすると専門的な知識や地域への課題認識がとて高く、県政にとって大切な声を聞くことができました。

広報委員会として県議会の活動を広く伝えていくことはもちろんですが、県民の皆さんに政治に関心を持って頂くための努力も必要です。県内の投票率が下がりに続ける中で、10代、20代の投票率は40%前後、ここ近年ではかなり低い状況。理由はいろいろあると思います。物価の上昇や増税、社会保障負担など生活は厳しくなるばかりなのに、政治は変わる気配がなく、政治家に期待感を持ってない思いも強いかも知れません。それで「どうせ投票に行っても何も変わらない」といった考えに行き着くのだと思います。県民の皆さんと一番身近な私たち議員が、皆さん一人一人の声を政治に反映させ、地域を変えていけることを率先して証明して行かなければ、その意識を変えられないと思います。

県民クラブは定期的に「地域課題研究会」を実施しており、県内の事業所への調査や子育て世代との意見交換会など様々な活動を行っています。こういった活動もより加速させながら、皆さんの声を県政に届け、身近な生活が改善できるように努力してまいります。一つ一つの積み重ねが多くの方々の政治への関心に繋がります、より良い未来に繋がる県政とするご意見をいただけるようになることを確信しています。

「県民の声を幅広く県政に」反映していくよう全力疾走で取り組んでいきます。